

「矢作川住民説明会（根羽村会場）」を開催！

今後の矢作川の整備について、矢作川と関わりのある地域の皆さまからご意見を伺いながら計画づくりを進めることを目的に「矢作川住民説明会（根羽村会場）」を開催しました。

参加いただいた根羽村、平谷村の住民の方々からは、森林の整備、美しい景観の保護など上流の水源地対策として流域圏一体で取り組むべき貴重なご意見を多数いただきました。

開催日時	開催場所	参加者
平成 20 年 10 月 29 日（水） 18：30～20：00	根羽村老人福祉センターしゃくなげ	38 名

○ 住民説明会開催状況

事務局から矢作川河川整備計画（素案）について説明



矢作川河川整備計画（素案）に対する意見を述べて頂きました



○ 代表的なご意見（会場意見・質問意見用紙 抜粋）

<治水>

- ・ 平成 12 年の洪水時に矢作ダムへ多量の土砂が流入したと聞いたが、掘削等の対応をしていないのか。
- ・ 平成 12 年の災害後の対応で河川整備は概ね終了したが、その後の河床低下が著しい。河床低下を抑制する帯工等の設置ができないか。これにより矢作ダムへの流入土砂量の抑制にも役立つと思う。
- ・ 河川工事の実施にあたっては、事前に漁業組合等と協議する体制作りをお願いしたい。

<環境>

- ・ 国が水源地のことを考えるという姿勢はうれしい。これまで自分たちで治山等を行ってきたが、現状を分析し、どこを助けたらよいかを明らかにして欲しい。
- ・ 河川沿いの樹種の研究を行い、川を守る樹林の姿を明らかにして欲しい。

<流域圏一体>

- ・ 上流の事を考えてほしい。
- ・ 整備計画の中に森林整備について触れられており、感謝している。伐採した木材が流木となって下流へ流下しないよう努力をしているが、林野庁の補助だけでは不足しているのが現状である。国土交通省からも応援してほしい。また、国土交通省の工事で流域の木材を利用する等の対応をしてほしい。
- ・ 平成 12 年の災害で山崩れが多かったのは全伐して 15 年前後の箇所であった。切った木に補助金をつけるのに加え、残した木にも補助金をつけるような方法が取れないか。災害の低減につながると考えられる。
- ・ 根羽村にはすばらしい景観がある。都会の方の力を借りて、この景観を残して欲しい。
- ・ 上流では過疎となり山の手入れができない状況である。下流では上流の問題を考えてほしい。矢作川水源基金があるが、県が違うことにより、長野県まで回ってこないのが現状である。流域全体で考えていただきたい。
- ・

<その他>

- ・ 住民が国土交通省に意見を簡単に述べられる場を作っていただきたい。
- ・ 整備計画での年間予算はどの程度を想定しているか。